2025年度日系社会研修　コース概要

NO.	35
所管センター	四国
分野	教育
研修コース名（日）	日本型幼児教育
受入人数	1
受入時期	下半期
来日日	2025年10月5日（日）
帰国日	2025年12月19日（金）
提案団体（日）	国立大学法人　鳴門教育大学
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.naruto-u.ac.jp/
研修員必要資格	現地の日系幼稚園教諭または幼児教育行政担当者
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験3年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N2
英語能力（選択）	不問
研修目標	日本における幼児教育をアップデートすべく、 日本国政府（文部科学省）が推進してきた施策（環境を通した教育、遊びを通した総合的指導）を理解するとともに、その背景にある近年のニーズ多様化やその対応状況についても理解を深める。
期待される成果 （習得する技術）	現在の日本における幼児教育全般の事情・状況を理解したうえで、現地日系社会において伝統的に受け継がれてきた教育的価値観や教育手法との比較を行い、それらを通じて双方のギャップを認識して現地での幼児教育現場にフィードバックできる人材を養成する。
研修計画 （内容）	訪日期間中、月曜日から金曜日までは本学における2025学年暦に沿って後期前半の学校教育学部幼児教育専修の授業、並びに大学院幼児教育コースの授業を受講しつつ、JICA研修用プログラムとして日本の幼児教育についての講義・演習を受講し、併せてゼミ指導（個別指導）、教育現場における保育観察等の機会を提供する。
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	中南米地域日系社会の幼児教育と日本のそれとの間にギャップが生じていることは自然な流れではあるが、しかしながら特にこうした状況を「中南米日系人のアイデンティティー継承」というテーマに照らして考える場合には、そのギャップを現地日系社会の幼児教育関係者が正確に認識したうえで、現在の日本型幼児教育をアップデートすることは従来以上にその重要性を増している。したがって本研修プログラムについては幼児教育が人格形成期に相当する重要性にも鑑みて、現地日系社会の幼児教育に携わる人材が日本型幼児教育の特徴や実践方法を十分に理解しつつ、その結果を現地の幼児教育に何らかの形でフィードバックするための機会と設定し、ひいては日系人アイデンティティーの継承という課題にも教育的側面からも貢献することを目指す。
応募希望者への特記事項	・2025年度の学年暦は2025年３月に確定する。したがって学内の授業参加にかかる時間割や本研修の終了日もそこで初めて確定することになる点はご留意いただきたい。また、教育現場見学の日程調整も幼稚園・認定こども園等の都合が優先されることをご承知いただきたい。 ・JICA関連では、別途で同じく中南米地域からの長期研修員も本学に在籍している。これら研修員は必ずしも幼児教育を研修対象としているわけではないが、中南米地域から来ている者の場合は本学（教育単科大学）に在籍する者同士、現地における教育の質的向上といった共通の話題に関して西語での情報意見交換等も可能と考えられる。